

# かまぐらのおもしろ不思議を歩こう

10

## おちゃぶさまさま

### 大貫昭彦

\*気分爽快にするパワー  
鎌倉の神社や寺、史跡を訪ねて地方のある場所を探し、そこから生まれるパワーを体得しようという大根会に参加して、二年半になります。目的地に着くと、まず主宰のアーサー・フィーラ大根弘行師が手を打ちながら首の微妙な変化を捉え、パワーのある場所を見つけ、そこから湧き立つ力を実感しようと交替でその場に立ちます。会員



交番脇の道



おちゃぶさま

は敏感な人が多いのですが、半信半疑でその場を離れる人もいます。私は鈍感な部類に入る人間なので空気の流れや匂いの変化を感じることはあるのですが、それは周りに感化された場りによる変調かもしれません。実際、パワーの位置に立って、姿勢を崩したり、倒れかかったりする人を見ると、別世界の出来事に見えます。また、爽快になった、頭痛が治るようになりますか」

立派な人が成功する例はよくありますよね」「ミリア」「アイト」といふ言葉があります。「御阿礼」御生れのごとく神は信じる人の前には現れるという意味です。京都の上賀茂、下鴨神社で行われる祭りと九州宗像神社の秋の祭りは「みあれ祭り」とも呼ばれます。神を本殿から他所に移して行う神幸祭、渡御祭です。

1月4日の葛原岡神社の新年祭でも祭礼の場や参列者を清める儀礼の参列者「オウオウ」と悪いと言えません。独居から舞殿前に運び込む中、斧を振るう幣振と、宮司による神事が行われ、古式ゆかしい装束の鎌倉の建築業者ら約20人が所役を奉仕した。参列者も関係者の見守りを受けて見入っていた。

新年恒例の鎌倉市消防出初式が、6日、鎌倉市山崎の山崎浄化センターで行われ、消防関係車両19台、消防職員や消防団員271人が参加。子ども連れの市民ら約700人が観覧した。

鎌倉・大船の向と職組合のまとい振込みに続きはしり乗りが行われ、とび職人が垂直に立てられた約6尺の青竹をするりと登って、その上で次々と妙技を決めると会場から大きな歓声が上がったII写真。

消防総台訓練では、はしり車、救助車、化学車、救急車など9車両が出動し、災害の発生したビルに取り残された人を消防隊員らが救出する訓練を行った。今年初めてドローンも登場して映像

いう声と共に本殿の扉が開かれます。身の引き締まる「御生れ」の瞬間です。こぼして見ると、鎌倉は神霊のメッカです。年改まる毎に神は生れ、長い歴史を経て、人々の感念を深めてきた神のいる町です。天地を貫く地力も豊かで、暮らす人々を守っているのです。こうした見地からパワースポットめぐりを続けま

\*「おちゃぶさま」は風邪の神  
風邪の季節ですから、「おちゃぶさま」を訪ねました。北鎌倉駅前の交番の脇に入り、右折して30分ほど行った所にある。一致団結して快適なまちづくりをしていく」と謝辞を述べた。

縁起物をつけたもので、大ききで3千円から1万円を選び、希望の飾りをつけてもらう。同寺では1980年(昭和)にぎわいが楽しいので今年も来たという横須賀の母と娘の親子は「昨年は売り切れて買えなかったけど今年はいいことがありそう」と福徳を手にうれしそうだった。

55の奥堂再建のときから十日えびが行われるようになった。

にぎわいが楽しいので今年も来たという横須賀の母と娘の親子は「昨年は売り切れて買えなかったけど今年はいいことがありそう」と福徳を手にうれしそうだった。

路地は昔はもっと広かったのかも知れませぬ。\*咳の神は、関の神？しりとりゲームのようですが、お付き合いです。風邪の神は咳の神、咳の神は関所の石塔？そのういへは北鎌倉は関所の町でした。民俗学者の柳田國男は、関所には結界を示す石が置かれ、お場石と呼ばれ、それはお婆石に、次に閻魔王の奥さんの脱衣姿に変化したと著書に書いています。すると石塔は、バス通り沿いの十王堂橋の辺りにあったとも考えられます。来月は、さらに進んで「おちゃぶさま」を訪ねましよう。

# 新春を寿ぎ海・まち・寺社で

## 豊漁祈願し 船祝い

一年の大漁と海の安全を祈る「船祝い」が1月4日鎌倉の腰越漁港で開かれ、親子連れなどでにぎわったII写真。  
神事太鼓の勇壮な和太鼓の演奏が披露されたあと、大漁旗で飾られた船の上からミカン撒ぎが始められた。



## 工事の安全願い 手斧始式

一年の工事の安全を祈願する手斧始式が1月4日、鶴岡八幡宮で行われたII写真。  
源頼朝が1181年に行った八幡宮造替時の神事に起源を持ち、1949年に現在の「手斧始式」として神事が再興し、継承されている。とび職人らが木遣唄に



のせて長さ約3・9尺、28寸角の御神木を二ノ鳥

## 消防出初式に700人

新年恒例の鎌倉市消防出初式が、6日、鎌倉市山崎の山崎浄化センターで行われ、消防関係車両19台、消防職員や消防団員271人が参加。子ども連れの市民ら約700人が観覧した。



## 商売繁盛

「商売繁盛 家内安全 お祈り申し上げます」の掛け声に続いて「ドンドン、ドン」と太鼓の音II写真。  
鎌倉市小町の本覚寺で1月10日十日えびが行われ、福徳を買い求める人たちの長い列ができた。福徳は境内の夷堂まわり鳳凰竹の枝に打ち出の小槌や鯛、小判などの

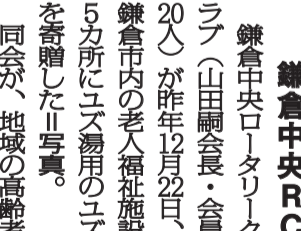


## 十日えびす

縁起物をつけたもので、大ききで3千円から1万円を選び、希望の飾りをつけてもらう。同寺では1980年(昭和)にぎわいが楽しいので今年も来たという横須賀の母と娘の親子は「昨年は売り切れて買えなかったけど今年はいいことがありそう」と福徳を手にうれしそうだった。

## 無病息災願い

正月の家族を訪れた歳神様が帰りになるのを見送る左義長神事が1月15日、鶴岡八幡宮境内の源氏池畔で行われたII写真。  
持ち寄られた神棚の御札やしめ縄、しめ飾り、松飾りなどを円錐形に積み上げ、薪火をもってお焚き上げる神事で、しめ縄などで高さ4尺ほどのやぐら状に組まれた2



## 左義長神事

対のワラに火がつけられると炎はまたたく間に全を包み、訪れた人たちは無病息災、家内安全を祈願していた。

鎌倉といえば...

# 鳩サブレ

豊島屋  
http://www.hato.co.jp

## 鎌倉彫、道の名匠たち 伝統工芸士の秀作一堂に

鎌倉芸術館エンタラシでは同会会長の小園博さん(21人)の工芸士の作品を展示し、修復事業が品々合わせて、パネル修理工芸士や職人たちの作品を披露する展示会が「第5回『道』展 鎌倉彫・技の回廊」伝統と革新の美」と題して1月中旬、同館ギャラリーで行われ、多くの鑑賞者でにぎわったII写真。  
主催の鎌倉彫伝統工芸士会は1980年発足。鎌倉彫の伝統工芸士は25年の経験を経て受験し得られる資格で、今回の展覧期間中、パネル制作や修復に携わった工芸士たちは約20人の半数は亡くなっている。作業には技の継承のために若手作家たちが加わった。

ユズ湯を老人施設に  
鎌倉中央RC  
鎌倉中央ロータリークラブ(山田嗣会長・会員20人)が昨年12月22日、鎌倉市内の老人福祉施設5カ所にユズ湯用のユズを寄贈したII写真。  
同会が、地域の高齢者

を解説する講座もあり、好評だった。  
実行委員長の小園敏樹さんは「伝統工芸士会では、大規模な展示は初めて」と話していた。

壁面のパネルは、同館開館時の1993年に制作された。タテ180センチ、ヨコ210センチの作品を5枚並べている。今回、24年ぶりの修復で、ひび割れや穴を補修し、固く塗っている漆をはがして塗り直すなど、4200時間、4カ月がかりの大仕事だったという。当時制作に関わった約20人の半数は亡くなっている。作業には技の継承のために若手作家たちが加わった。

